

佐久市総合計画審議会 第2部会（第1回） 会議録

日時：平成30年6月20日（水）

午前10時～11時40分

場所：佐久市役所701会議室

【出席者】相馬部会長、渡辺副部会長、田村委員、松井委員、丸山委員

【事務局】土屋企画課長、木下企画調整係長、大井（実）、中村

1 開 会

2 議 事

(1) 佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

事務局	<p>【基本目標①・②・地方創生関係交付金事業】進行管理について</p> <p>今回は、平成29年度の実績評価についてご意見をいただきますが、中間評価であることから、審議の視点として、KPIの推移や事業の成果から、「当該事業は地方創生の実現に当たり効果がある」、あるいは「当該事業はこうしたら効果が上がるのではないか」といったご意見をいただきたいと思っております。</p>
部会長	<p>それでは、評価報告書5ページから説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標①】(1) 地域産業の競争力強化</p> <p>ア 市内企業の成長の支援（P6）</p> <p>イ 農林水産業の生産性向上とブランド化の推進（P7）</p> <p>ウ 地域資源を活用した観光・交流の促進（P8）</p> <p>エ 持続可能な循環型社会の構築（P9）</p> <p>オ 健康長寿ブランドの構築と国際展開（P10）について説明</p>
委員	<p>説明を聞きますと、佐久市は住み良い、働きやすい、住みやすいところで、引き続き各種施策に取り組んでいただくことで、将来的には経済、医療、文化、農林業など様々な面で順調に、良い方向へいくのではないかと申し上げます。</p>
委員	<p>8ページ中段の主な施策「佐久市のカラマツ材のブランド化」の取組についてですが、素晴らしい取組だと思います。ですが、強く素晴らしいカラマツがある反面、素材にならないカラマツも多いです。そのような林の整備の促進もしていただければと思います。</p>

	<p>次に、現在佐久市も移住施策を推進していると思いますが、移住者の中でも、特に佐久市への移住、就農を希望する都会の方が大変多いとお聞きしています。そのような方々の移住を促進させるためにも、環境整備だとか何か支援策を考えていただければと思います。</p> <p>また、8ページの下段の主な施策に「林道田口十石峠線の開設支援」とありますが、例えば林業振興だけでなく、観光振興への活用など地域の活性化に資する取組も併せて努めていただければと思います。</p>
委員	<p>8ページ中段の主な施策の「水田鮎の生産振興」についてですが、仕事の厳しさから生産者の確保が難しく、衰退の懸念を抱いていましたが、受講者が3人もいて驚きました。もう少し前向きに鮎産業について考えていく必要があると思いました。</p>
委員	<p>6ページ下段の主な施策「空き店舗を活用した創業経費への補助」についてですが、活用実績を見ると新規が6件、うち創業が5件となっています。1件は補助金を入れて改修しながらも創業をしなかったということでしょうか。28年度実績も新規が10件、うち創業7件ということは、3件は創業できなかったということでしょうか。</p>
事務局	<p>29年度実績ですが、新規に出店したのは実際6件あり、そのうち5件は創業、残る1件は移転等によって新たにその空き家を活用して営業を始めたということです。</p>
委員	<p>8ページの主な施策の最後「林道の計画的な維持管理」について、望月地区の林道鹿曲線の整備の見込みはないのでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度予算に、林道始点のグラウンドまで舗装修繕を実施します。</p>
委員	<p>過疎地域に関する財政支援制度などを活用して整備を検討していただきたい。春日溪谷を活用すれば、さらなる観光振興にもつながります。ぜひお願いできればと思います。</p>
委員	<p>先程のカラマツ林や林道の整備などの事業の実施に当たって、どこの市町村も厳しい財政状況の中で、いかに財源を確保してくるかが求められています。佐久市の将来像の実現のためにも、市の強みや特徴を謳いながら進めていただければと思います。</p>

部会長	<p>他にご意見などはございますか。</p> <p>ないようですので、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標①】(2) 首都圏等からに人材還流及び佐久市における人材育成・雇用対策</p> <p>ア 新規就農・就業の促進 (P11)</p> <p>イ 技能・知識の獲得の支援 (P12)</p> <p>ウ 多様な人材の雇用促進 (P12) について説明</p>
委員	<p>「ウ 多様な人材の雇用促進」の中で、K P I 「移住者雇用対策事業による移住者雇用件数」が順調である理由は何でしょうか。</p>
事務局	<p>理由についてはお調べします。(議事録最後に記載) なお、今年度から地方版ハローワークが始まりましたが、市も就職支援員による企業訪問により、企業も人材を雇用出来ず困っている状況を把握しています。今後、移住者などに重点を置き、このハローワークによる就職相談会を実施することで地元の企業への就職を促進していこうと現在取組を進めているところであり、このK P I は今後さらに伸びることが期待されます。</p>
委員	<p>また、障がい者の雇用について、「佐久広域連合障害者相談支援センター」による取組が行われていますが、地域の熱意ある皆さんが協力してくださるということは非常に大事なことだと思います。雇用だけでなく、災害についてもこれに当てはまってくると思いますので、そこも含めてしっかりと進めていただければと思います。</p>
部会長	<p>他にご意見などはありますか。</p> <p>ないようですので、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>

部会長	それでは、次の説明をお願いします。
事務局	<p>【基本目標①】（3）ICT等の利活用による地域産業の活性化</p> <p>ア 民間企業等のICT活用による効率化と付加価値向上の促進（P13）</p> <p>について説明</p>
委員	佐久ものづくり研究会に信大の准教授の方が入られましたが、意外と佐久市には人材がいると思います。市行政の今までの取組の積み重ねの結果ももちろんありますが、整ってきている気がします。
部会長	<p>他にご意見などはありますか。</p> <p>ないようですので、次の説明をお願いします。</p>
事務局	【基本目標①】数値目標（P5）について説明
委員	「医療・福祉」の従業者数が920人増とありますが、介護施設などで働く人が増えているということでしょうか。佐久市はかなり多くの福祉施設があり、遠くから働きに来られている方もいますが、佐久市は「健康長寿のまち」として周知されているのは事実です。この特徴を強く打ち出して人口増加を図っていくのも良いと思います。ほかにも、市土が広く、北陸新幹線をはじめとする高速交通網も充実しています。この卓越性を生かして施策を力強く進めていただければと思います。
委員	商業的、経営者的な見方で見た場合、佐久市の福祉施設は非常に良いと思います。ですが、小諸市や上田市などの周りの市町村も負けず劣らずな状況です。先人たちが築き上げてきた佐久市の「健康長寿」をブランド化し、競争力を高めるような施策が打ち出せば良いと思います。佐久総合病院も、昔は東信の周辺市町村から当たり前のように受診に来られていました。現在もまだ競争力はあると思うものの、他の診療機関に流れていることも事実です。
事務局	<p>現在、「ジャパンプランド『健康長寿』推進事業」として、健康づくり推進課、高齢者福祉課、佐久大学、佐久総合病院、浅間総合病院で海外の視察受入れの実施や保健医療システムの海外展開を進めているところです。</p> <p>また、保健・医療分野のみならず、介護分野においても人材不足が起きて</p>

部会長	<p>いますので、打開に向けて新たに取り組んでいく必要があるということで検討を進めているところです。</p> <p>他にご意見などはありますか。</p> <p>ないようですので、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標②】(1) 移住・交流の促進</p> <p>ア 交流・観光・移住のためのプロモーションの実施 (P14)</p> <p>イ 移住定住促進のための体験機会の提供と経済的支援</p> <p>ウ 地域おこし協力隊の導入</p> <p>エ 生涯活躍のまち (日本版CCRC) の構築について説明</p>
委員	<p>15 ページのK P I 「空き家バンク登録物件の契約成立件数」について、目安値を達成していませんが、売買価格も一因として考えられます。特定空家などは除くとして、優良物件でないもののまだ活用できる空き家については、市が一定の支援をして整えるなどの施策を進めないと、目標値の達成は難しいと思います。</p>
委員	<p>15 ページ下段の「ウ 地域おこし協力隊の導入」についてですが、現在9名の隊員が活動していらっしゃるからお聞きしましたが、3年で満了ということは、3年後の活動終了後は帰ってしまうのでしょうか。</p>
事務局	<p>活動拠点で起業をされる方もいます。市といたしましても、活動終了後起業を目指す隊員を対象とした創業支援の補助制度を今年度から整備しました。</p>
委員	<p>せっかく3年間、佐久市のために頑張っていただいている皆さんに、活動終了後も継続的に協力してもらえるようお願いしたいと思います。</p> <p>協力隊員の方が佐久市のために来てくれたのは事実ですが、佐久市に適した人材確保というものも大事だと思います。何でもやろうではなく、佐久市を都会から見た目で、本当に市がますます良くなるためにも、優秀な人材を</p>

	<p>確保していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>例えば、浅科地区の特産物である矢嶋の凍み豆腐は、作り手の高齢化により量産が厳しい状況です。浅科地区の協力隊員と一緒に凍み豆腐づくりを一緒にやってくれていますが、彼も今年で3年目。地元で引き続き活動を続けていきたいという意向は聞いています。</p> <p>このように、地元の特徴ある産業に携わり、継続的に活動していただけるという状況も生まれてきています。このような積極的な方を地域おこし協力隊として任用していきたいと思っています。</p>
委員	<p>隊員をもっと増やして、将来ぜひ佐久市に住んでもらいたい。</p>
部会長	<p>この前、佐久市に家を建て、毎日丸の内へ通っているという30代のご夫婦に初めてお会いしました。</p>
事務局	<p>70分ですので、新幹線の定期代金を負担していただける企業さんでしたら通勤も現実的と考えます。15ページに記載していますが、市では移住促進サポートプランの1メニューとして新幹線の定期代補助も行っています。</p>
部会長	<p>そういう方は他にもいるかもしれない。新幹線の定期代補助の概要を教えてください。</p>
事務局	<p>新幹線通勤代は、1人当たり最高で年30万円を最長3年間支給です。但し、佐久市内の新築物件或いは中古物件を購入された方に限り、通勤代は支給されません。</p>
委員	<p>地域おこし協力隊の任期は期限が3年ですが、今、浅科の凍み豆腐を作っている方は、任期終了後は地区の生産施設から出ていかなければならないのでしょうか。そこで継続して活動を続けることはできないのでしょうか。</p>
事務局	<p>その施設で継続して活動もできますし、その後は隊員の自由といえますか、個人の考えによって自由に活動していただけます。</p>
委員	<p>3年後に隊員がよそへ出て行ってそこで店舗を構えるとなりますと、今の施設の後継者が不在になり困ってしまいます。もし新たにここへ来て豆腐作りをしてくださる人がいれば、引き継いでいただいて、現在の隊員に店舗を</p>

事務局	<p>出して創業してもらっても良いですが…。3年後に創業できないという方もいると思いますが、そういった方は継続して続けてもらえればと思います。</p> <p>そういう意味では、地域おこしの取組の中で、手伝いを行った団体の運営を担っていってもらるかたちで入ってもらうこともひとつあるでしょうし、同時に自ら得たスキルを使って、新たに自分が事業主となって創業することは隊員の選択肢でもあります。当然ながらそういった部分を見据えて元々募集をしているところもありますし、その辺はどういった選択をされるかということにもなりますが、いずれにしろ市としてはその地域に根づいてもらうことが一番大事だと考えていますので、できる限りの支援をしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>現在の隊員は、豆腐の原材料を作るために荒廃農地を借りて耕作しています。荒れ地を畑としてまた再生してもらえるので、地主や地域共々感謝しています。できれば引き続き働いてもらいたいと思っています。</p>
部会長	<p>ほかにご意見などはありますか。</p> <p>それでは、これらを部会の意見として取り扱うこととしますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標②】(2) 企業等の誘致、企業等による地方採用・就労の拡大</p> <p>ア 起業や政府関係機関の誘致 (P17)</p> <p>イ 遠隔地勤務等の新たな事業所立地の支援 (P17)</p> <p>ウ 就職支援員による就職相談及び職業紹介 (P18) について説明</p>
事務局	<p>なお、本日欠席されている委員から「ア 企業や政府関係機関の誘致」について1件ご意見を頂戴しておりますので、ここで紹介させていただきます。</p> <p>実際に企業誘致により地方都市に工場を作られた方からのご意見として、誘致の段階では、補助金などの優遇措置があったりしますが、工場を建ててからのフォローがあまりなく、新たな地域での人脈をつくるのに苦労したとの話がありました。佐久産業支援センターなどとも連携し、金銭面だけでな</p>

	<p>く、情報提供など誘致した後のフォローもぜひ検討していただきたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
委員	<p>「ア 企業や政府関係機関の誘致」について、臼田工業団地のスタートに向けて、企業誘致は進んでいるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今全ての工業団地用の用地が売れてしまっている状況なので、新たに臼田工業団地を整備するとともに、誘致も進めています。</p>
委員	<p>地元から、佐久市発展のためにも出来るだけ大規模企業に来てもらいたいとの話を伺っています。</p>
事務局	<p>佐久市の強みは、冒頭でもあったとおり、災害が少ないだとか、立地的に近畿にも行けるし首都圏にも行ける、高速交通網が発展しているところです。これらの強みをしっかりとアピールし、リスク分散も含め是非佐久市にと強力に進めているところです。</p>
委員	<p>先程の委員の創業後のフォローに係る意見について、企業からも誘致した後にも情報が欲しいということだが、市としても創業してからの情報がある程度把握しておくべきではないでしょうか。年間の売上高や雇用者数など。地方版ハローワークが開設されたので、今後はそこが窓口となるのでしょうか。行政と企業の距離が少し遠く感じます。</p>
事務局	<p>行政と企業の距離が遠いと、情報交換もスムーズにいかなくなってしまいます。今回、産業支援センターということで、商工団体中心に立ち上げてくださった団体があります。先ほどの委員からの意見についても、情報の共有だとか、企業間のマッチングなどをまさにこれから専門の機関で進めていきたいということです。おっしゃるとおり、地方版ハローワークでも人材の供給という意味でも市の方から積極的に支援をしていきたいと思っています。いただいたご意見については、今改善へ向かっています。</p>
委員	<p>人材の不足など、会社の悩みが分からないとフォローができません。そういった場合、地元の商工会に入っていただくとか、佐久産業支援センターに入っていただくとか。企業も経済界に入っていただくと、情報が入ってきます。</p>

委員	商工会の会員になっていただくと、いろいろな横の繋がりが出来、情報交換もできます。大事なことです。
部会長	ほかにご意見などがございますか。 内容ですので、これらを部会の意見として取り扱うこととしますがよろしいでしょうか。 (異議なし)
部会長	それでは、事務局から次の説明をお願いします。
事務局	【基本目標②】(3) 若者の市内企業への就職促進と人財育成 ア 地元出身学生の定着・Uターンの促進 (P18) イ 学生等への市内企業のPR支援 (P19) ウ 地域産業を担う人材の育成支援 (P19) について説明
部会長	事務局の説明について、ご意見などはございますか。 ないようですので、次の説明をお願いします。
事務局	【基本目標②】数値目標 (P14) について説明
委員	素晴らしい結果だと思います。引き続き取組を進めて頑張っていたきたいと思います。
部会長	ほかにご意見などはございますか。 ないようですので、次の説明を事務局からお願いします。
事務局	【平成29年度 地方創生関係交付金の実施結果】 (1) 地方創生推進交付金活用事業について説明 ア 交流と協働で織りなす夢をかなえるまちコンパクトシティ臼田とCRC事業の構築 (P41) イ ジャパンブランド「健康長寿」推進事業～“SAKU Health-care model”の構築・展開を目指して～ (P41)
委員	16ページ及び41ページの臼田CRC事業について、佐久市への移住お

	<p>試しツアーに関わる機会がありました。実際に移住された側の方々など開催側の間人も含め、そのツアーに参加した方の意見として「行政の型にはまったツアーでつまらなかった」とか「思うように出来なかった」などの意見がとて多かった。このツアーは、既に移住されている方に相当な協力をしていただいていますし、もう移住者の皆さんや地域の方々に任せてもいいのではないかということを感じました。移住者同士がつながることができる機会を創出することは、とても大切なことだと思います。</p> <p>先ほど「企業に対してのフォロー」という言葉がありましたが、まさに佐久市が今やろうとしている事業に対してフォローがなければ成功しないと思います。地域住民の方々のフォローも必要不可欠ということを感じていただきたいと思います。</p>
委員	参加者の平均年齢はどの位だったのですか。
委員	70歳に近いぐらいでした。
委員	リタイアしてからの方が多いのでしょうか。
委員	私も地元のツアーを秋に行おうと相談中ですが、地元の良いところを見てもらいながら、移住施策に協力をしていきたいと思っています。事業に協力したいということで、荒廃農地を活用した農産物づくりなどをやろうと、我々も頑張っていきたいと思っています。
委員	私と同じ会社に勤めている方にも、親は東京で暮らしているが、信州が好きだからという理由で3年前から勤めている人がいます。また、来年は入るかどうかは未定ではありますが、初めて中国の方が入社することになるかもしれません。中国の大学を卒業し応募してきて、親は東御市に住んでいます。この方々のように「信州はいいね」という人はきっと多いと思います。
委員	移住してきた方のご意見を尊重してやっていくことで、思いがつながっていくと思います。
委員	私の親族も望月で生まれ、田舎で育って、大阪で定年を迎えたが、「今年こちらに来たいから」と移住を決めました。どうしてこちらへ来るのかと理由を聞くと、「浅間山と蓼科山を見ながら生活したい」と言うのです。私も田舎育ちだが、やはり浅間山と蓼科山には魅力があります。環境もいい。

委員	佐久市は他と違って、大規模な地震もない。
委員	南海トラフなど今後想定される大規模災害を考慮すると、「佐久市へ」と考える方も多いと思います。市も受け入れ態勢はしっかりと整えていく旨を謳うべきだと思います。
部会長	<p>予定した議題は終了しました。全体を通して、ご意見などはございますか。</p> <p>それでは、【基本目標①】及び【基本目標②】、【地方創生関係交付金事業】についての意見は、事務局において取りまとめ後、部会長一任ということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	本日いただいた意見は、他の部会で出た意見と一緒にまとめさせていただいて、まとめたものを委員の皆様にお返しさせていただきます。

(2) その他

次回：「第二次総合計画進行管理について」

後日日程について通知予定

※「ウ 多様な人材の雇用促進」中、K P I 「移住者雇用対策事業による移住者雇用件数」が順調である理由（報告書 P12）

当該制度は平成 27 年度から始まった制度ですが、広報やホームページ、SNS 等を活用し積極的に周知を図ったことにより、制度が徐々に普及してきた成果と考えられます。